

11月17日(木) 18:30- PCIP勉強会

技術士として 男女共同参画を考える

山村裕美

技術士(生物工学)・医学博士
山梨大学男女共同参画推進室・特任助教



自己紹介

名前：山村裕美

役職：山梨大学男女共同参画推進室 特任助教

資格：技術士（生物工学部門）、臨床検査技師、医学博士

最近チャレンジしたこと：

ITパスポート、2級知的財産管理技能士、行政書士 試験の受験

頭と身体が働くうちは、なんとか働き続けたい

課題

- 男女共同参画社会を構築する必要性は？
- 科学技術分野における男女共同参画とは
- 技術士として男女共同参画に貢献できること

課題

- 男女共同参画社会を構築する必要性は？
- 科学技術分野における男女共同参画とは
- 技術士として男女共同参画に貢献できること

課題:

男女共同参画社会を構築する必要性は？

- 何時、誰のために、何のために必要となるのか？
- 男女共同参画社会が構築されるメリットとは？
- 男女共同参画社会によるデメリットは？

憲法で定められた男女平等

14条：
平等権

24条：
家族生活における
個人の尊厳・
両性の平等

44条：
議員及び選挙人
の資格（第44条）

男女共同参画社会とは

「男女が、**社会の対等な構成員**として、自らの意思によって**社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保**され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」

(男女共同参画社会基本法第2条)

**男性も女性も、意欲に応じて、
あらゆる分野で活躍できる社会**

男女共同参画社会を構築する上で 出てくる理解しがたいキーワード

社会の対等な
構成員

男女が均等に

共に責任

平等となにが違うのか??

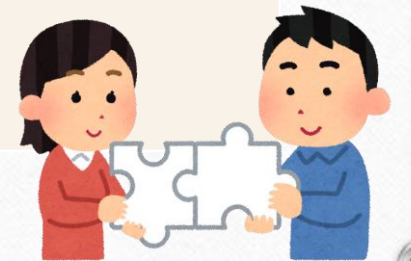
男女平等と男女共同参画の違い

| 男女平等 | 男女共同参画 |
|-----------------------|----------------------------------|
| 男女の性別による 差別を受けないこと | 男女が 対等の立場 で 社会を作り上げること |



人権保障

社会構築



男女共同参画により実現される社会 (理想)

職場に活気

家庭生活の充実

地域力の向上

男女共同参画社会のメリット・デメリット

| | メリット | デメリット |
|--------|-----------------------------------|---|
| 職場への影響 | 働きやすくなる (職場の活気、働き方の多様性) | 昭和の価値観が薄れる |
| 家庭への影響 | 家庭生活の充実 両親が子育てや教育に参加できる | お父さん(お母さん)は仕事 だけ(家事だけ)していればいい はNG |
| 地域への影響 | 地域力の向上、参政権 (若手の参入) | 地域長老意見に従え、 が通じなくなる |

これからの日本経済を担う若者たちが暮らしやすくするために必要

男女共同参画社会構築を必要とする根拠

少子高齢化

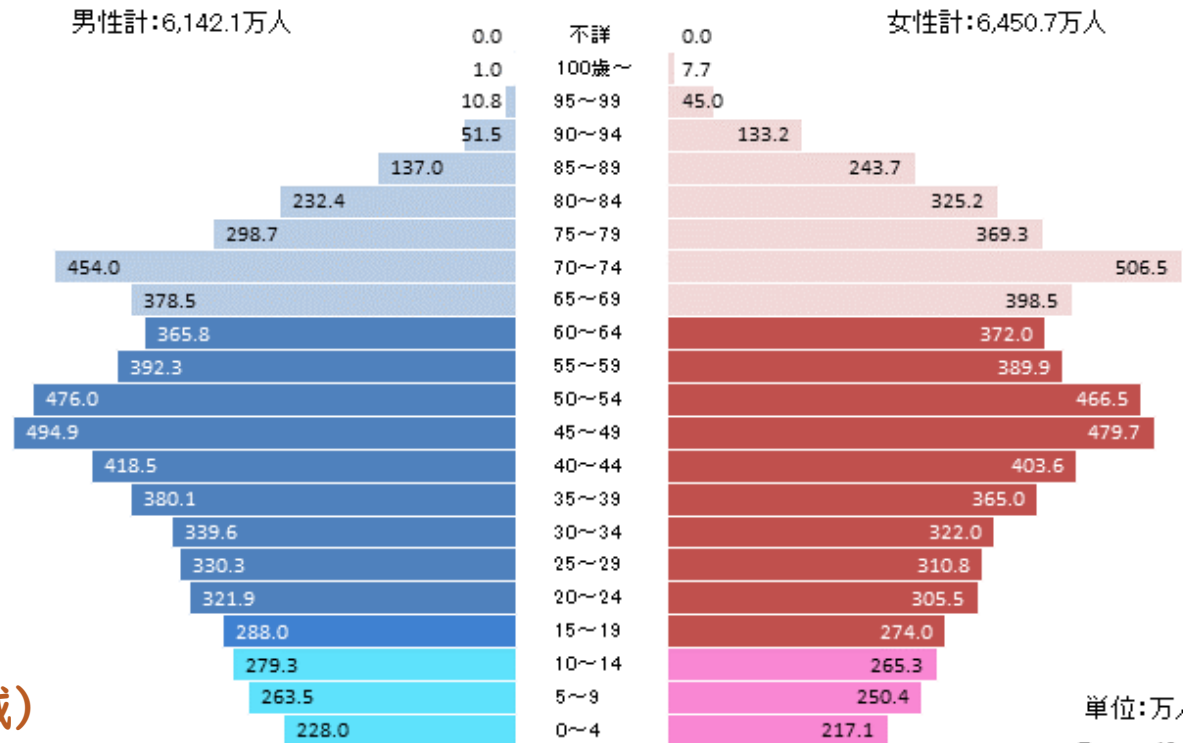
現在の働き世代人口(20~64歳まで)

男性 3519.4 万人
女性 3415.0 万人
Total 6934.4 万人

20年後の働き世代人口(現在の5~44歳)

男性 2621.2万人
女性 2496.6 万人
Total 5117.8 万人 (約30%減)

日本の2022年1月1日の人口構成(住民基本台帳ベース,総人口)



(老若)男女問わず働かなければならない社会

意見交換

男女共同参画社会を作るために、
必要となる行動は？

*意識？

*活動？

課題

- 男女共同参画社会を構築する必要性は？
- **科学技術分野における男女共同参画とは**
- 技術士として男女共同参画に貢献できること

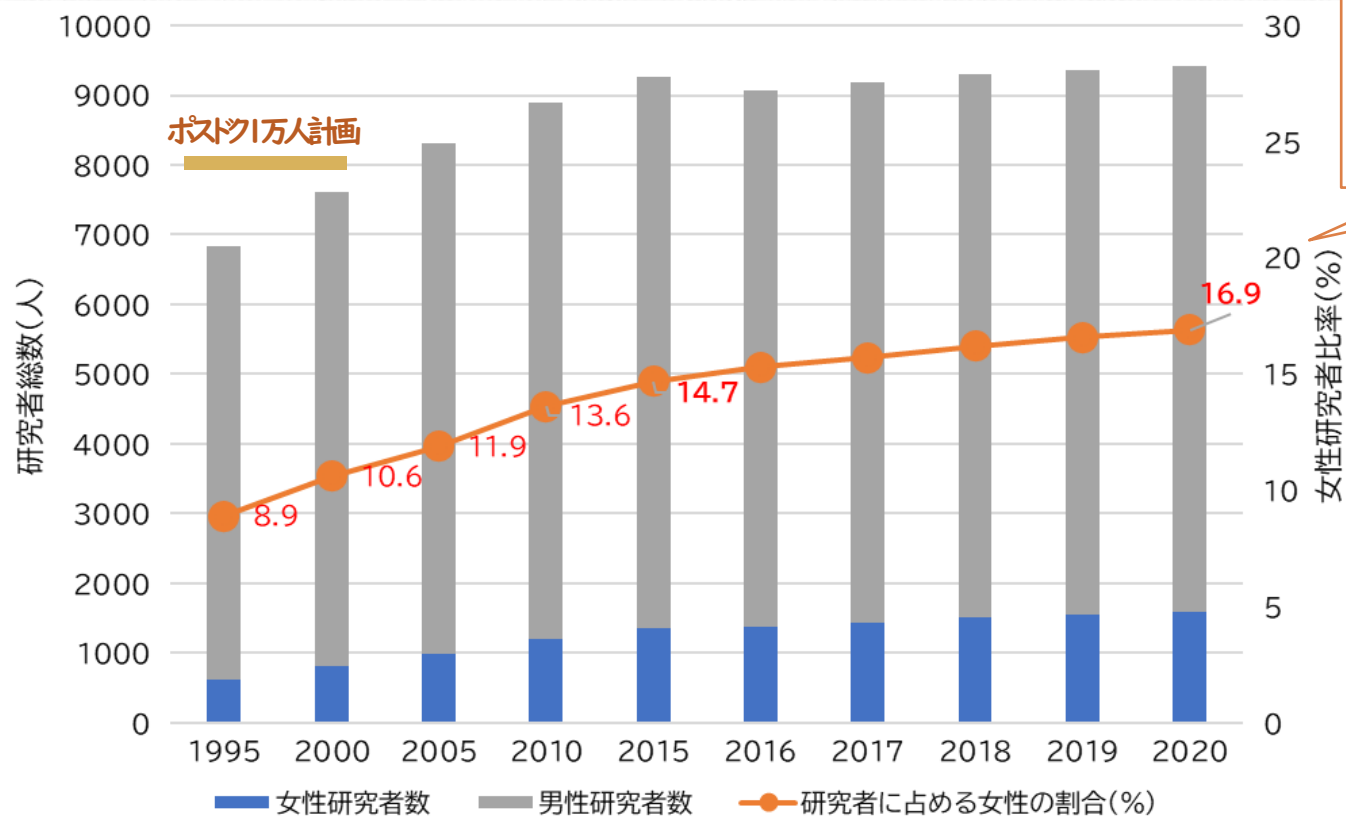
課題：

科学技術分野における男女共同参画とは？

- 科学技術分野における現状
- 科学技術分野に女性が少ない要因
- 科学技術分野に女性が参入しやすくするために技術士としてできることは？

科学技術分野における現状

公的研究機関における女性研究者割合

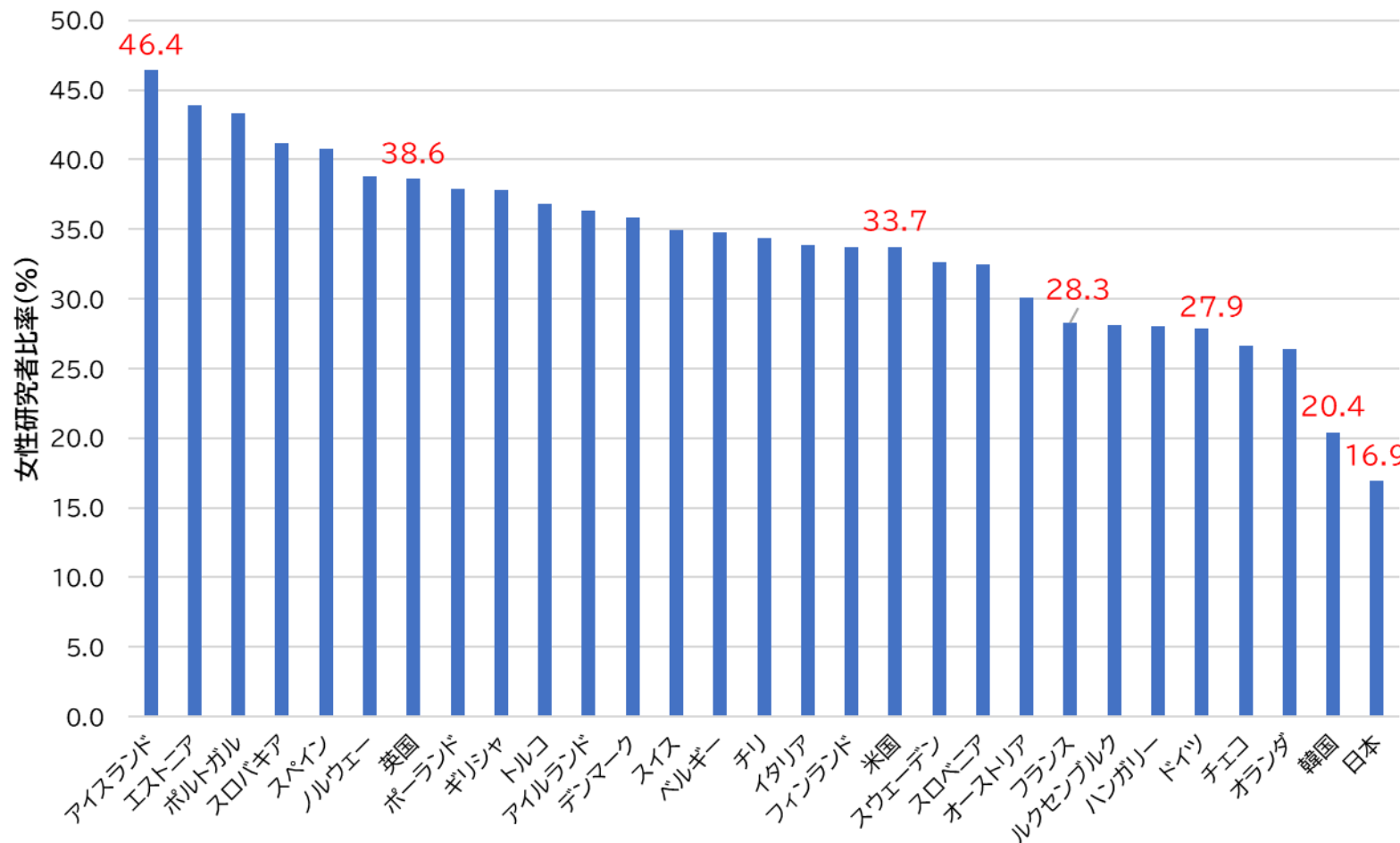


女性研究者比率は、
1995年から8%増加し、
16.9%

男女共同参画推進局
男女共同参画白書令和3年版より
山梨大男女作成

科学技術分野における現状

女性研究者割合の国際（OECD諸国）比較

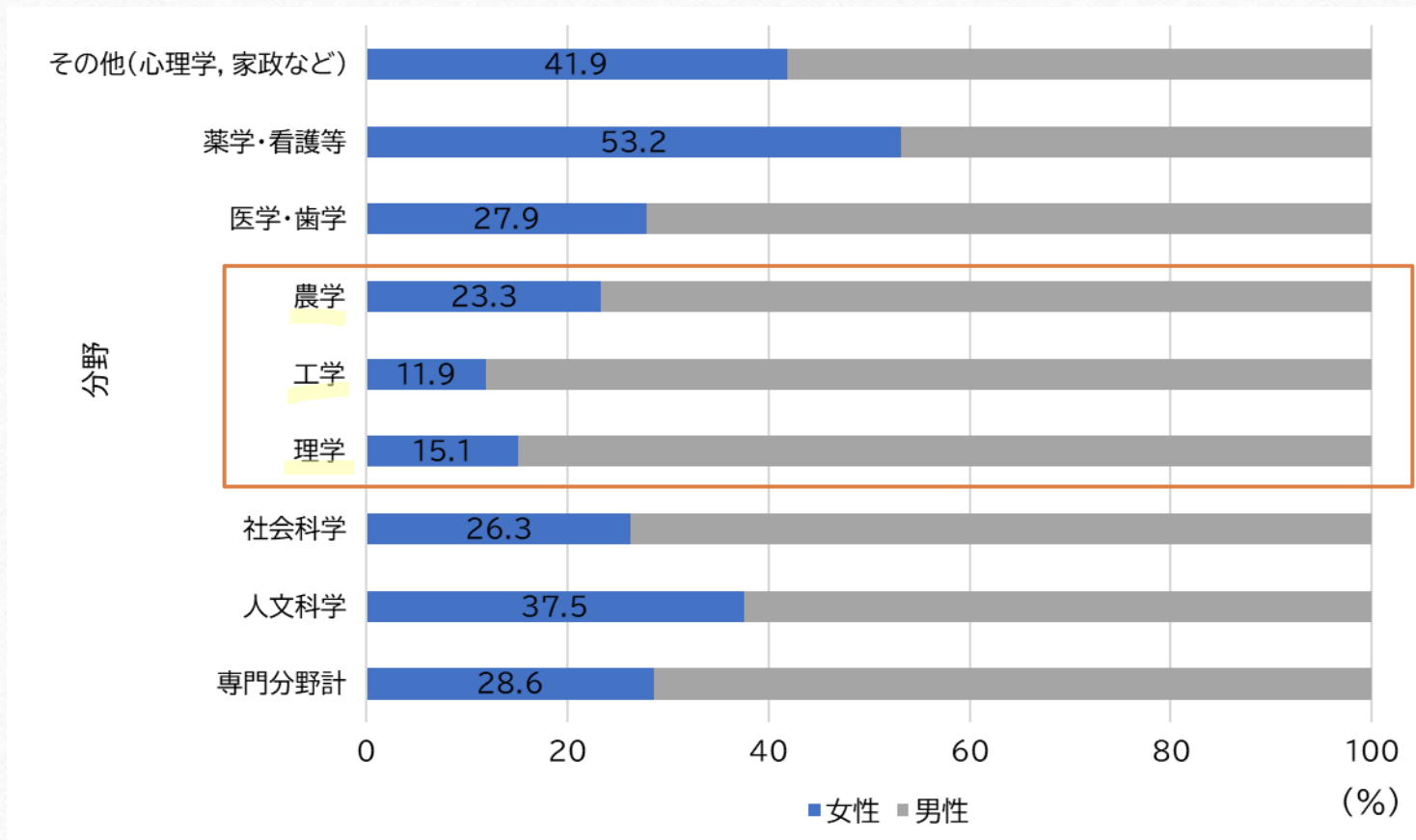


日本の女性研究者比率
(16.9%)は、**OECD諸国**
の中で最も低い

男女共同参画推進局
男女共同参画白書令和3年版より
山梨大男女作成

科学技術分野における現状

専門分野別に見た大学等の研究本務者の男女別割合

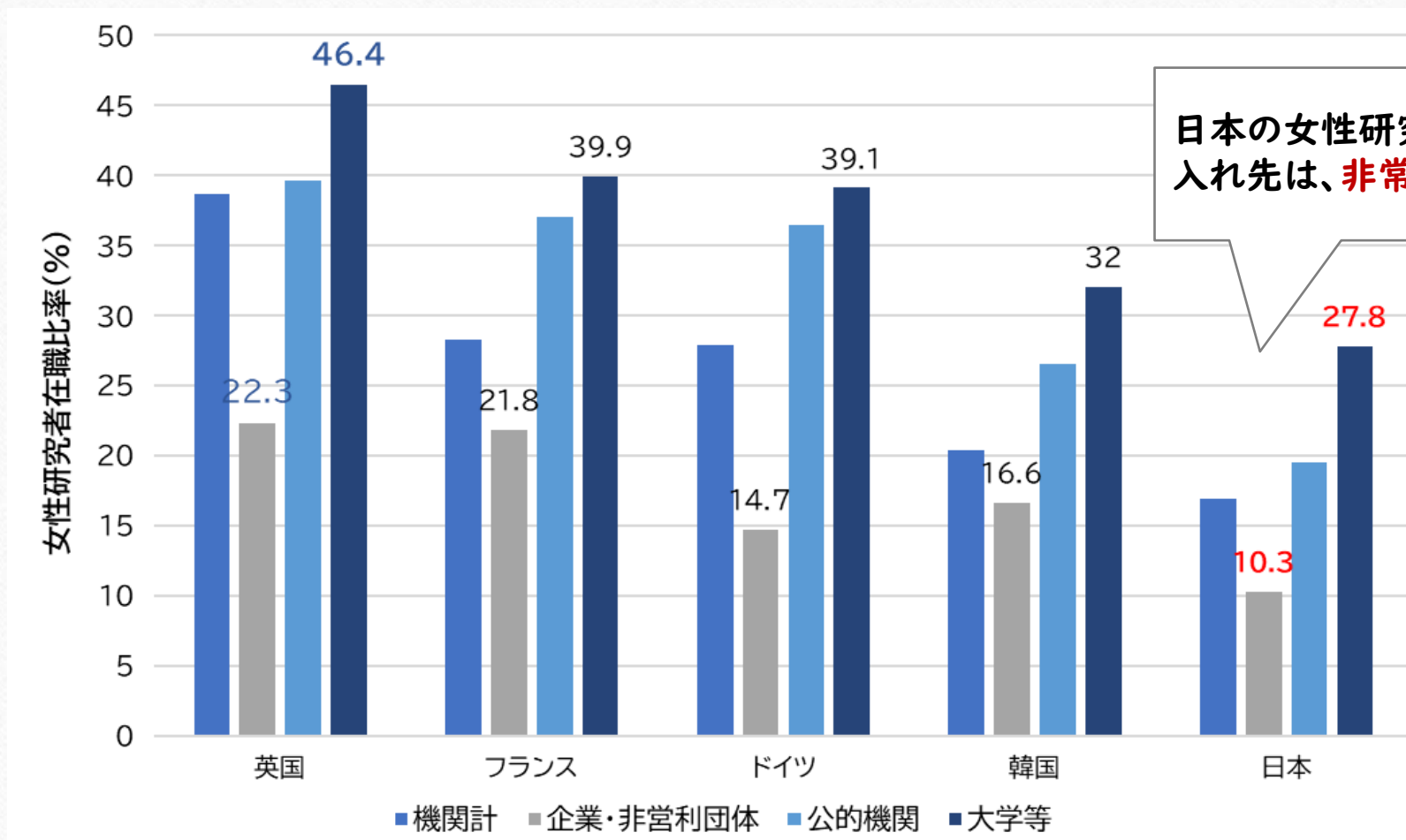


理学、工学、農学分野の女性研究者比率はずっと低い

男女共同参画推進局
男女共同参画白書令和3年版より
山梨大男女作成

科学技術分野における現状

諸外国における女性研究者の受け皿



日本の女性研究者の受け入れ先は、**非常に少ない**

男女共同参画推進局
男女共同参画白書令和3年版より
山梨大男女作成

科学技術分野に女性が少ない要因 (これまでの研究から明らかになった要因)

- **ジェンダーバイアス** → 自然科学分野は女性に向かないという性差に基づく偏見
- **ロールモデル不足** → 将来の自分の姿に重ねられるようなモデルがない(不安しかない)
- **理科・算数(数学)への関心の性差**

科学技術分野に女性が少ない要因に対し 技術士としてできることは？

| 要因 | 技術士としてできること |
|---------------|--|
| ジェンダーバイアス | 科学的根拠を用いた意識改革 |
| ロールモデル不足 | 20代～30代や子育て中等、 手が届く範囲のキャリアモデルの紹介 ⇒スーパー女性をモデルとしないこと |
| 理科・算数(数学)への関心 | 技術士によるより実践的な授業 |

意見交換

科学技術分野における
男女共同参画とは？

*女性は科学技術分野に必要か？

課題

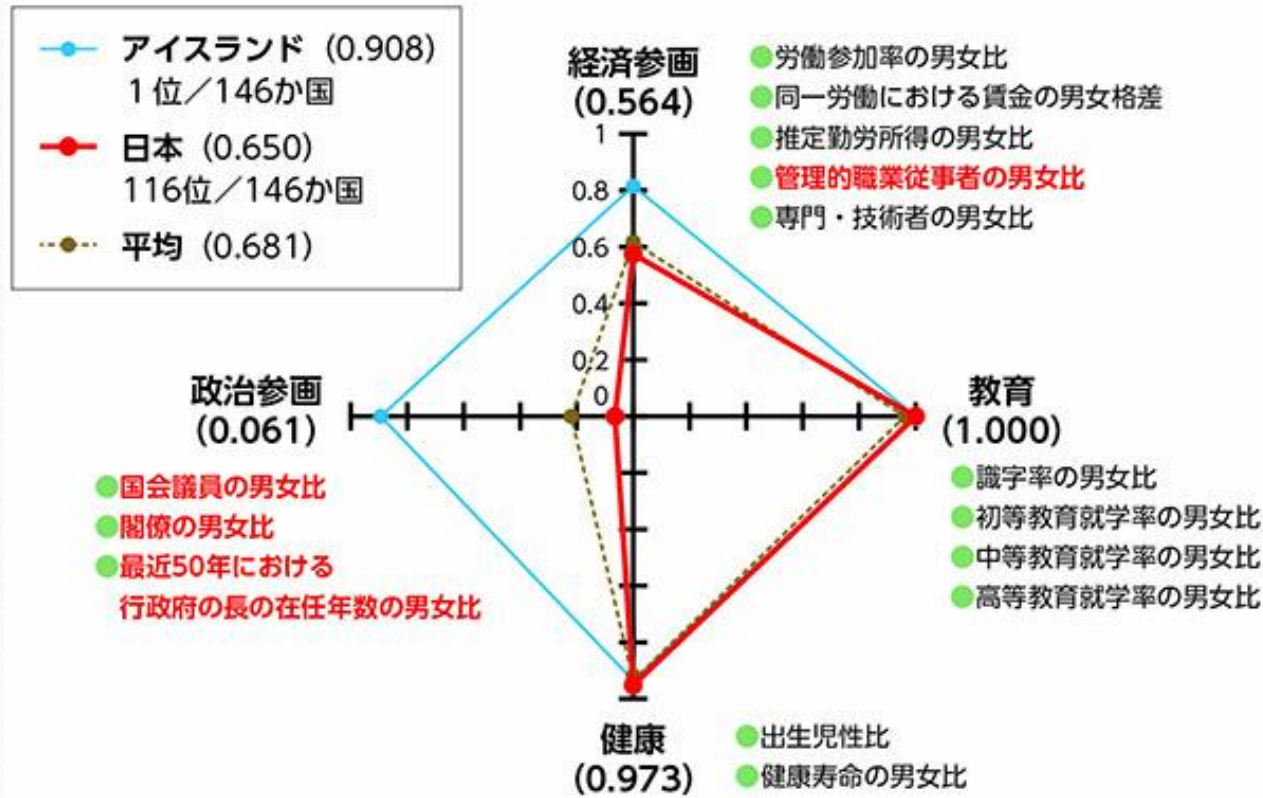
- 男女共同参画社会を構築する必要性は？
- 科学技術分野における男女共同参画とは
- 技術士として男女共同参画に貢献できること

課題：

技術士として男女共同参画に貢献できること

- ジェンダーギャップ指数から見えてくる課題
- 国の女性活躍推進政策から見えてくる課題
- 技術士として、どのようなことができるか？

ジェンダーギャップ指数から見えてくる課題



(備考) 1. 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2022)」より作成
 2. スコアが低い項目は赤字で記載
 3. 分野別の順位: 経済(121位)、教育(1位)、健康(63位)、政治(139位)

教育や健康は男女平等

経済参画や政治参画の女性比率が非常に低い

特に、政治参画は0.061
ほぼ男性社会



教育は平等に受けているのに、ギャップが出る

根本原因の解決が必要

ジェンダーギャップ指数から見えてくる課題

アイスランドとの比較(2020年データ):経済分野

| | アイスランド | 日本 |
|-----------------------|------------------|-------------------|
| ジェンダーギャップスコア /順位 | 0.877/1 | 0.652/121 |
| 経済活動への参画機会/順位 | 0.839/2 | 0.598/115 |
| 同種業務の給与における男女平等 | 0.846/1 | 0.672/67 |
| 上級職、管理職比率 (スコア/順位) | 41.5% (0.708/21) | 14.8% (0.174/131) |
| 専門職・技術職比率 (スコア/順位) | 55.6% (1.000/1) | 40.5% (0.680/110) |

給与格差が大きく、管理職比率が低い

ジェンダーギャップ指数から見えてくる課題

労働参加率、賃金格差
管理職・専門職の男女差

物理的要因

意識的要因

女性就業率
の増加

総合職、専門職
への就業

働く場所

働ける環境

キャリア教育

専門教育
(理系)

職の多様性

働く場所の
多様性の理解

職場環境整備

生活環境整備

ロールモデル
紹介

理系を増やす
取組

キャリア教育

働き方の多様性
の理解

子育て世代への
配慮

就業に対する
理解

子育て環境整備

教育

国の科学技術政策から見えてくる課題

ア 科学技術・学術分野における女性の採用・登用の促進及び研究力の向上

- * 研究職・研究職として研究開発の分野で**指導的地位の女性比率を高めること**
- * 科学技術・学術分野における女性増員に向けた新規採用・登用に関する**意欲的な数値目標**の設定
- * 国が関与する科学技術プロジェクト等における**積極的改善措置（ポジティブ・アクション）**の取組を推進し、科学技術・学術に係る政策・方針決定過程への女性の参画を拡大

イ 科学技術・学術分野における女性人材の育成等

- * 女性研究者・技術者の採用の拡大や研究現場を主導する**女性リーダーの育成**
- * 上位職への**キャリアパスの明確化**，メンタリングを含めたキャリア形成支援プログラムの構築，その他女性研究者・技術者の採用及び登用に関する**積極的改善措置（ポジティブ・アクション）**の取組
- * 女性研究者・技術者の就業継続や研究力の向上に向けた女性研究者・技術者のネットワーク形成支援，メンター制度の導入，**ロールモデル**情報の提供，定期的な研修や相談窓口の活用及び各種ハラスメントのない職場環境の整備等の促進
- * 大学，研究機関，学術団体，企業等の経営層や管理職が多様な人材を活かした経営の重要性を理解し，女性研究者・技術者の活躍推進に積極的に取り組むよう，男女共同参画に関する研修等による**意識改革**の促進
- * 男女双方に対する研究と出産・育児，介護等との両立支援や，女性研究者の研究力向上及びリーダー経験の機会の付与，博士後期課程へ進学する女子学生への支援の充実等を一体的に推進するダイバーシティ実現に取り組む大学等を支援

国の科学技術政策から見えてくる課題

科学技術・学術分野における
女性の採用・登用の促進及び
研究力の向上

- ・ 指導的地位の女性比率を高める
- ・ 女性増員に向けた新規採用・登用に関する意欲的な数値目標
- ・ 積極的改善措置（ポジティブ・アクション）の取組と積極的な女性参画の推進

科学技術・学術分野における
女性人材の育成等

- ・ 女性リーダーの育成
- ・ キャリアパスの明確化
- ・ 意識改革

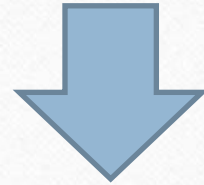
課題：そもそも、科学技術系に進む女性が少ない！！

課題：科学技術系女性をまず増やすこと



技術士としてどのようなことができるか？

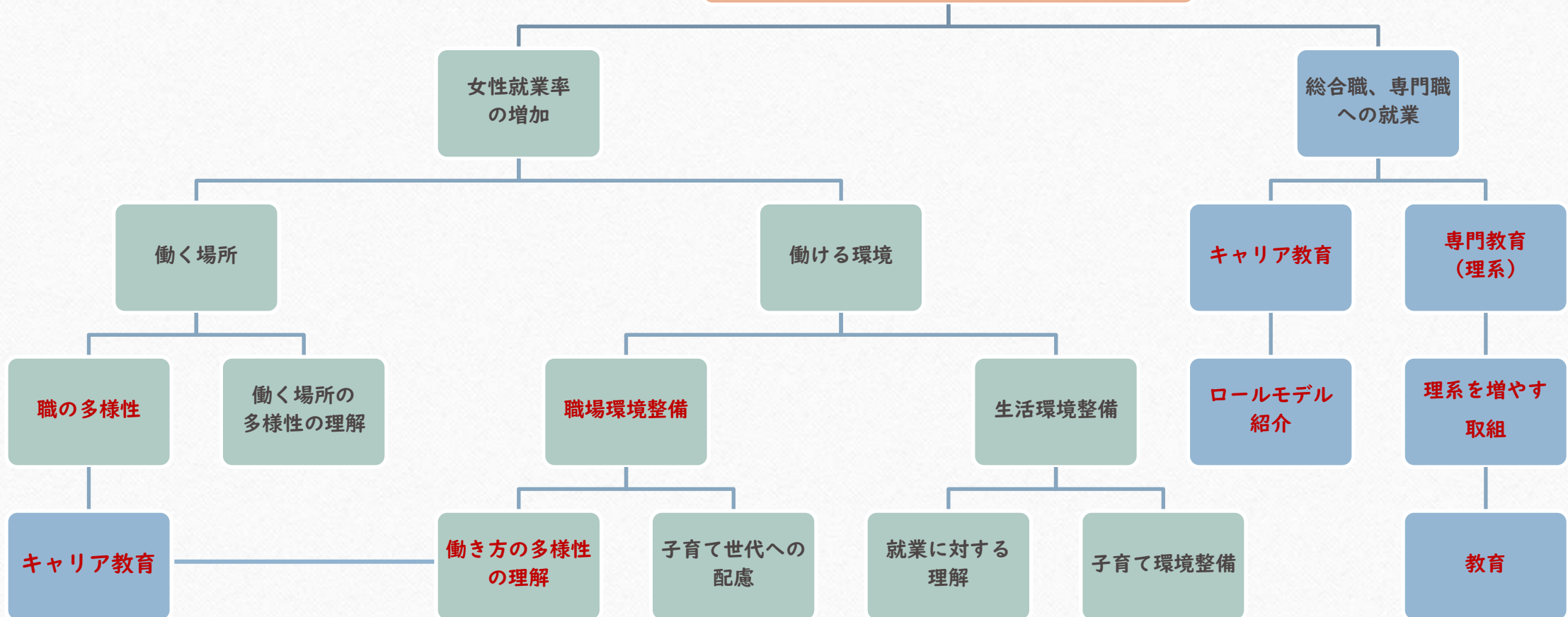
課題：科学技術系に進む女性が少ない！！



STEM分野に進む女性の**すそ野拡大**への協力

STEM分野への女性参画により解決されうる課題

労働参加率、賃金格差
管理職・専門職の男女差



STEM分野における女性活躍促進は、課題解決となるか？

均等に働く機会

ライフ
イベント
環境整備

職場
環境整備
(働き方の
多様性)

ジェンダー
バイアスの
低減

女性賃金増加

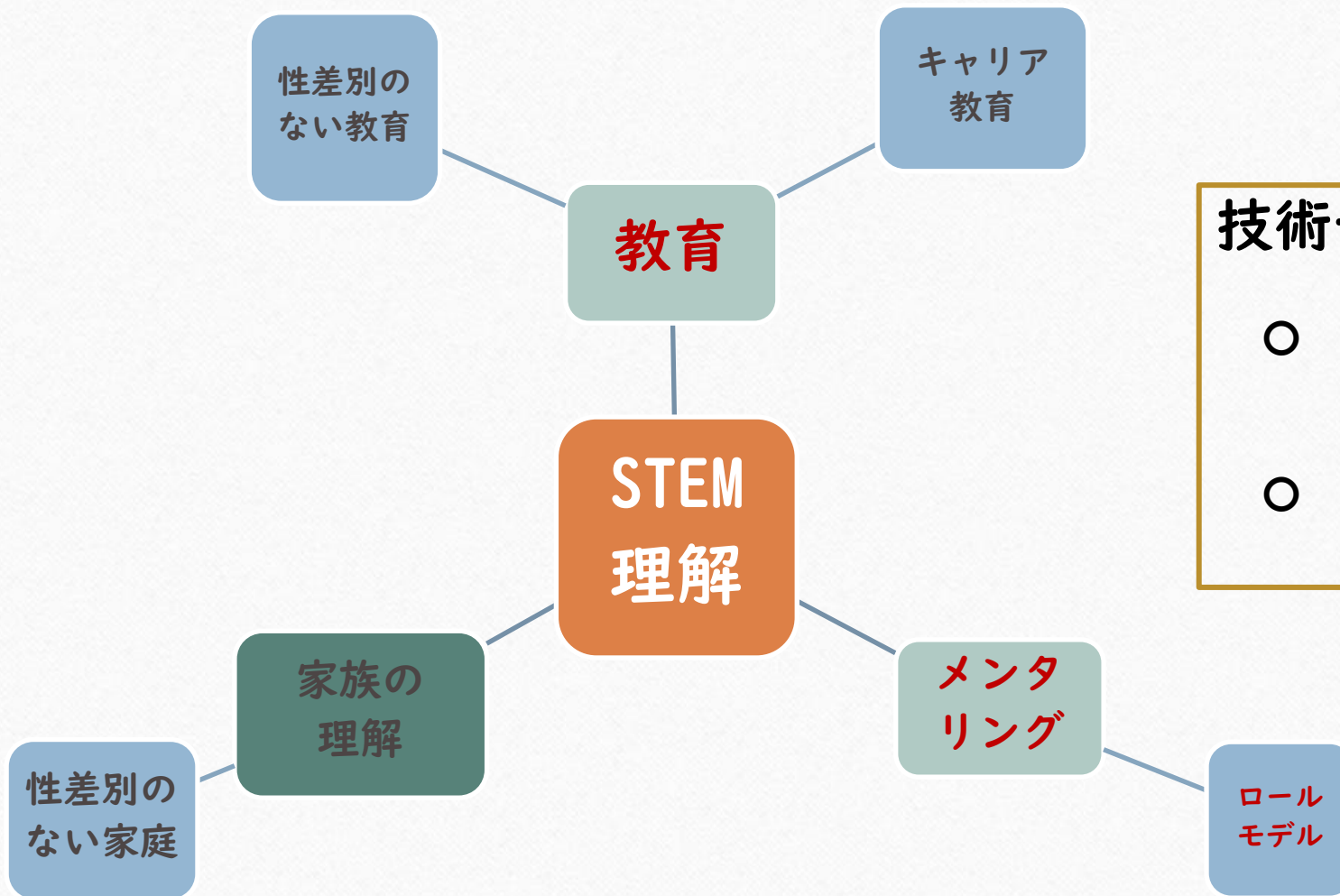
質の良い
教育の
提供

女性の
地位向上

女性起業
家精神

暴力に立
ち向かう
力

STEM分野の男女共同参画（女性参入）には何が必要か？



技術士として介入できる分野

- より実践的な**科学技術教育**（インターンシップ）
- メンターや**ロールモデル**としての関与

意見交換

STEM分野への協力は可能か？

***女性は科学技術分野に進出するために技術士はロールモデルとなるか？**

まとめ：技術士として男女共同参画を考える

- 男女共同参画社会は、近い未来のために必要な社会
- 女性に下駄をはかせる社会ではなく、女性・男性区別なくともに働ける社会の構築が必要
- STEM分野への女性進出は、ジェンダーギャップをなくす一つの手段になるかもしれない（技術士の出番）